

第1回 有田地域における大規模氾濫減災協議会

日 時：平成 29 年 7 月 21 日（金）13:30～14:30

場 所：有田振興局 3階 大会議室

【出席者】

田代副市長（望月有田市長代理）、上山湯浅町長、星畑総括課長（西岡広川町長代理）、
中山有田川町長

気象庁 和歌山地方气象台 見定次長（山田台長代理）

和歌山県 有田振興局 松尾地域振興部長、福岡副部長（雑賀建設部長代理）

国土交通省近畿地方整備局河川部 井川地域河川課長（オブザーバー）

協議会開催にあたって

協議会の開催にあたって、福岡副部長が「この協議会は、「大洪水からの逃げ遅れゼロ」、「被害の最小化」を実現するため、関係者間であらためて連携を深めて対策を協議するもの」と挨拶し、本協議会が目指す目標の共有が図られました。



議 事 概 要

事務局より、協議会設立の背景・必要性、県内の枠組み、今後の取組（スケジュール）、地域の状況、取組方針検討事項のイメージについて説明。

その後、本協議会の規約（案）について、議決され、「有田地域における大規模氾濫減災協議会」が設立しました。

今後は、次回協議会（平成 30 年度出水期まで）までに「有田地域における取組方針（案）」について検討することとしました。



<主な意見等>

- ・ 気象情報の改善により、いち早く精度良い情報を入手出来るため、行政側は、早期対応が可能となり、近隣市町と連携を密にして判断を下し易くなる。住民の方が、こういった情報をいち早く入手することも大事なことであり、高齢の方が多く、情報の入手方法を分かり易く伝える必要がある。
- ・ 河道内堆積土砂の浚渫も、大きな課題と考える。
- ・ 課題を持ち寄って取組む良い機会。回数を重ね、継続的に取組みたい。